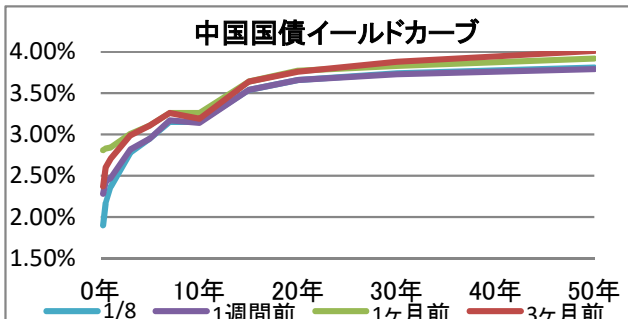
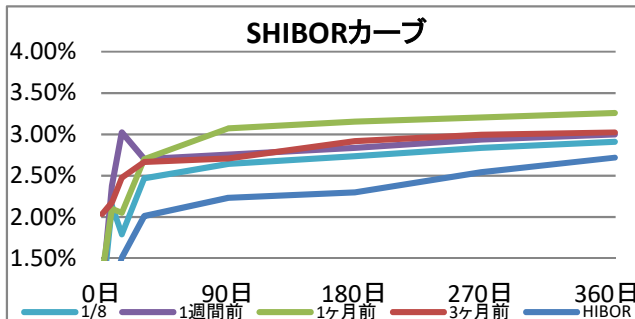


①市場概況

基準レート		2021/1/8	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.4708	-0.0541
	JPY/CNY	6.2331	-0.0905
SHIBOR	3M	2.6450%	-0.1110%
国債利回り	10年	3.15%	+0.01%
上海総合指数		3,570.11	+97.05



(1) 概況

世界的に新型コロナウイルス感染拡大が続く中、米国ではトランプ大統領支持者の連邦議会乱入による混乱はあったもののバイデン氏の大統領選挙の勝利が確認され、早期の景気対策実施への期待が高まり株高、債券安、ドル高となった。中国では、年初から人民元が急騰していたものの、金融当局による中国国内から国外への融資規模の拡大を可能にする政策が出されたことや、中国人民銀行での穏健な金融政策維持が確認されたこと等により一旦は落ち着き、根強い経済回復期待もあって株式も上昇している。

トランプ大統領による中国軍関連企業への投資を禁じる大統領令の発効を控え、中国通信大手3社のニューヨーク証券取引所での取引停止に続き、国際的な株価指数からの除外も決まっている。

中国人民銀行は、易総裁が垂在中国日本大使と面談し、日中の経済情勢や金融協力等について意見交換したことを公表している。

(2) 金融調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日5,600億元に対し、新規リバースオペ550億元を実施し、差し引き5,050億元を吸収している。人民元高が進んでいることもあり、中国人民銀行は年末越え資金の吸収を継続する一方でリバースオペによる少額の資金供給を継続することにより、多額の資金供給が引き締め懸念とならないよう配慮している。

(3) 主な経済指標

財新PMI (12月) は、製造業が53.0 (11月54.9)、サービス業56.3 (同57.8)、総合では55.8 (同57.5) と、前月の10年来の高水準からやや低下しているものの、高水準を維持している。海外を含む新規受注や生産等がやや低下し、価格指数が上昇していることから、製造コスト低減のための雇用への影響が懸念されるとしている。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	0.9650%	1.0000%	0.9200%	
1W	2.1410%	2.1000%	1.9000%	
2W	1.7930%	1.8500%	2.3000%	1.7000%
1M	2.4680%	2.0000%	2.6000%	1.8600%
3M	2.6450%	2.4000%	5.8000%	2.3800%
6M	2.7380%	3.3000%	2.4000%	2.5000%
9M	2.8370%			2.6800%
12M	2.9100%			2.8100%

中国人民銀行が大量の年末越えの資金の吸収を続けているものの混乱等はなく、金利水準も低位で安定した状況が続いている。穏健な金融政策の継続が確認されていることもあって、2月中旬には春節の長期休暇が控える中でターム物の金利水準も比較的落ち着いているものの、出合いは1ヶ月(春節前)が2.0%を下回る水準で取引されている他は限定的。

NCDも活発に取引されながら金利の低下が続いており、ターム物の金利水準は1ヶ月1.90%前後、3ヶ月2.40%前後、6ヶ月2.60%前後、1年2.80%前後まで低下している。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.01%	0.02%
1W	0.02%	0.03%
1M	0.08%	0.10%
3M	0.28%	0.30%
6M	0.40%	0.45%
12M	0.60%	0.70%

資金需給に問題なく、短期ではオファーしっかりの状況となっており、金利水準は1ヶ月が0.10%前後、3ヶ月では0.30%水準が出し気配の状況が続いている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.90%	2.03%	2.33%	2.62%	3.33%
6M	2.17%	2.20%	2.62%	2.84%	3.56%
1Y	2.36%	2.40%	2.84%	3.01%	3.76%
3Y	2.78%	3.40%	3.28%	3.41%	4.23%
5Y	2.95%	3.19%	3.55%	3.70%	4.60%
10Y	3.15%	3.53%	3.86%	4.02%	4.93%

債券市場では、中国人民銀行の穏健な金融政策姿勢と資金供給継続による短期金利の低位安定を好感して、利率債を中心に短期債が人気を集めている。

イールドカーブは、全体的な利回り低下が続いているものの、特に短期利率債の利回りが大きく低下したことから、ステープニングが続いている。クレジットスプレッドは、新年となって信用債への投資の回帰が見られ、総じて縮小に転じているものの、短期については利率債の利回り低下幅が極めて大きいことから、拡大が続いている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	19.5 / 20.0
1M	142.0 / 144.0
3M	325.0 / 333.0
6M	636.0 / 640.0
9M	940.0 / 978.0
12M	1265.0 / 1272.0

対ドル基準レートは6.4708と前週末比-541pipsのドル安元高、対円基準レートは6.2331と同-905pipsの円安元高と、年初からの人民元高を映じた基準値設定が行われたものの、中国金融当局によるマクロ経済調整策により6.47前後での設定が続いている。国内市場では、1月5日の基準レートが前日比で2005年の人民元切り上げ以降の最大の人民元上昇幅となったことから一時6.42台まで人民元高が進んだものの、レベル感からのドル買いや中国金融当局は急激な元高を望んでいないとの認識から6.47台に戻している。

先物は、米国での長期金利上昇や人民元金利の低下が続いたことから、スワップ幅は一段と縮小している。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.35%		1.80%
6M	2.39%	2.70%	1.95%
9M	2.43%	2.77%	2.01%
1Y	2.46%	2.83%	2.07%
3Y	2.66%	3.13%	2.36%
5Y	2.84%	3.35%	
7Y	2.97%	3.50%	
10Y	3.12%	3.68%	

債券利回りは大きく低下しているものの、スワップ金利は短期が小幅に低下する程度で低下幅は限定的となっている。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは、前週同様に債券市場では短期債を中心に大幅な利回り低下が起こる一方、スワップ金利には大きな変化がなかったことから、引き続き大幅な拡大が続いている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。